

## 令和4年度 1年生（69期生）芸術科選択科目説明資料

全般的な注意事項 ・継続履修とする。（音Ⅰ→音Ⅱ、美Ⅰ→美Ⅱ、工Ⅰ→工Ⅱ、書Ⅰ→書Ⅱ）  
 ・授業に必要な道具・材料等で各自が負担するものがある場合もあります。

科目	学年	教科書	使用教具・教材（◎印は購入品）	授業内容	備考
音楽	1	教育芸術社 「MOUSAⅠ」	◎教科書 ◎Music Navigation（後日配布） ◎教材費：2年間で610円	【歌唱】…歌唱の様々な形態（独唱、斉唱、合唱、ヴォーカルアンサンブル、オペラ、ミュージカル、謡など）を通して、音楽活動の基本を知り、美しい音楽表現を学ぶ。 【器楽】…ラテン楽器を使ったサンバ 【創作】…楽譜作成ソフトを活用した作曲 【鑑賞】…表現活動や音楽史と関連させて、適宜行う。 【その他】…音楽を表現するために必要な知識（音楽史、音楽理論）および音楽文化とその成立背景についての研究を適宜行う。	表現活動が中心となるので、何事にも積極的に協調性があり、心身共に活発な生徒の受講を希望する。なお、歌唱活動に関しては感染状況に合わせ、可能な範囲で取り扱うこととする。
	2	教育芸術社 「MOUSAⅡ」			
美術	1	光村図書 「美術1」	◎クロッキー帳（A4） ◎教材費：2年間で7,000円 （キャンバス、画材、消耗品等）	1. 静物などをモチーフとした作品制作や目的や機能に合わせたデザインなどを通して、美術表現の基礎を学ぶ。 2. 自己の思いや考えなどを、様々な表現媒体を通して表現することで、自己の価値観を創出していく。 3. 作品制作や鑑賞活動を通して、互いの考えや価値観を理解し合う。	動きやすく、汚れてもよい作業衣を準備することが望ましい。
	2	光村図書 「美術2」			
工芸	1	日本文教出版 「工芸Ⅰ」	◎教材費：2年間で7,000円 （木材、金属、粘土、布 消耗品等）	Ⅰ・Ⅱを通じて、主に下記の1～3を発展的にくり返す。 1. 生活の中での使用を目的として、美しく機能的な作品を発想構想する。 2. 発想構想に基づいて、計画的、機能的に作品を制作する。 （木材、金属、陶磁、繊維などを素材とする。） 3. 制作した作品を生活や社会の中で生かす工夫をする。	動きやすく、汚れてもよい作業衣を準備することが望ましい。
	2	日本文教出版 「工芸Ⅱ」			
書道	1	教育図書 「書Ⅰ」	◎毛筆大 ◎毛筆小 ◎用紙 （漢字用半紙、かな用半紙、料紙、画仙紙等） ◎墨（固形墨、液体墨） ◎篆刻用印材 等	書は言葉表現する芸術であると捉え、主体的で創造的な表現ができることを目指して、学習活動を展開する。 1. 漢字の書・仮名の書（伝統文化から学ぼう） 2. 漢字仮名交じりの書（現代の言葉を自分の表現で書こう） 3. 日常生活に生かす書（書を暮らしにいかそう） 4. 鑑賞（素直な心で感じよう） 5. 作品制作 ・条幅作品（掛け軸） ・篆刻（印章） ・工芸書（蒔絵） 等	動きやすく、汚れてもよい作業衣を準備することが望ましい。
	2	教育図書 「書Ⅱ」			

### 令和4年度 新入生芸術科選択科目調査

次の芸術科4科目のうちから、第1希望、第2希望を一つずつ選んでください。なお、科目選択を学校に一任することもできます。

<科目> 音楽Ⅰ、美術Ⅰ、工芸Ⅰ、書道Ⅰ

（注意） 1. 1年で選択した科目は、2年、3年で変更できません。

2. 第2希望にまわってもらってもありますが、第1希望でない場合、その理由を記入してください。

<提出>

提出方法については3月6日（日）のオリエンテーションで説明します。